

岡山県
くりにん

No.62
2021.1



一般社団法人 岡山県産業廃棄物協会

緑のリサイクル



タマタイ産業 株式会社



産業廃棄物から一般廃棄物まで
木くず、選定枝、草の処理なら当社にお任せください。

営業品目 産業廃棄物・一般廃棄物中間処理業
木材チップ生産事業 緑化資材事業
不動産事業

本 社 〒709-0935 岡山市北区神田町 2 丁目 1-25
TEL : 086-224-3291 FAX : 086-223-6354
URL <http://www.tamatai.com>

金川工場 〒709-2134 岡山市北区御津下田 450
TEL : 086-724-0115 FAX : 086-724-2694

建部工場 〒709-3121 岡山市北区建部町大田 1425
TEL : 086-722-3865 FAX : 086-722-3459



<金川工場>



異物選別機

<ウッドタウン浦安> 貸倉庫



岡山市南区浦安本町 85-2 他(総敷地面積約 19,000 ㎡)

グループ企業

ライフオス株式会社(旧：玉野耐火礦業株式会社)

本社 〒700-0935 岡山市北区神田町 2-1-25 TEL : 086-224-3217 FAX : 086-224-3310

- 木材事業 上月工場(兵庫県)／福山支店(広島県)／岡山チップセンター
- ガス事業 玉野営業所・工場／東岡山工場
- 総合住宅展示場 プレステージ城東

◆年頭あいさつ◆

年頭挨拶 一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会長 大塚 雅司	2
循環型社会の形成の推進に向けて 岡山県環境文化部 部長 古南 篤子	3
新年のご挨拶 ～持続可能なまちづくりの推進に向けて～ 岡山市環境局長 國米 哲司	4
新年のごあいさつ 倉敷市環境リサイクル局 局長 三宅 幸夫	5
令和3年年頭所感 公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一	6

◆特集 災害訓練◆

岡山県災害廃棄物仮置場設置訓練	7
-----------------	---

◆行政NEWS◆

産廃の違法運搬を食い止める！ ～抜き打ち検査を実施しています～	22
大気汚染防止法の改正 石綿飛散防止のための規制が強化されます！	23
PCB使用安定器の処分期限は今年度末！！	24
PCB廃棄物の期限内の処理をお願いします！	25

◆支部ニュース◆

備北支部 高梁クリーン作戦	26
備北支部 新見クリーン作戦	27

◆青年部のページ◆

青年部会に委員会を設置しました	28
令和2年度全国産業資源循環連合会 青年部協議会中国ブロック研修会 岡山で開催される	29
青年部会教育研修委員会「勉強会」の開催	30
環境おかやま大賞等 表彰式	31

◆委員会報告◆

緑十字賞 受賞にあたり	32
災害廃棄物処理支援における広域連携体制の整備について	33
災害廃棄物処理支援における初動体制の整備について	34

◆趣味のコーナー◆

私の蘭	35
-----	----

◆会員紹介コーナー◆

有限会社井上設備	36
タマタイ産業株式会社	37

◆事務局だより◆

令和2年度研修会の開催中止のお知らせ	38
令和3年度許可講習会に関する情報	38
会員企業のホームページ作成サービスのご案内	38
新入会員の紹介	38
表紙写真ガイド／編集後記	40



年頭挨拶

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会 会長 大塚 雅司



会員の皆様、あけましておめでとうございます。

今年は十二支の2番目で、芽吹きを迎えようとする丑年です。この丑年には、人類初の宇宙飛行やハイブリッド車のデビューなど革新的な出来事もありましたが、いま新型コロナウイルス感染症が世界中で大流行しています。みんながコロナを克服し、希望に満ちた年になることを願っています。

さて当協会では、昨年は新型コロナウイルス感染拡大防止のため、協会事業の柱である研修事業の開催を自粛しました。管理者研修会も、実務者研修会も、電子マニフェスト研修会も、視察研修会もすべて中止し、協会ではこの期間を利用して、災害廃棄物処理支援体制の強化に取り組ませていただきました。

昨年3月、平成30年西日本豪雨の経験を踏まえた支援体制の強化方針を打ち出し、災害廃棄物委員会を中心に要請窓口の設置、支援会員の把握、資機材調査の実施、広域連携体制の整備を進めてきており、今後、各支部における初動体制を確立して市町村との連絡調整を進めて参りたいと考えています。また、昨年11月には、県が主催する災害廃棄物仮置場設置訓練が笠岡市で開催されましたが、当協会は災害支援体制の強化の一環としてこの訓練に全面的に協力参加しました。災害廃棄物処理に係る実地訓練は全国でも初めてのケースでしたが、訓練に参加した井笠支部会員の皆様、また訓練の準備段階から検討会に参加していただいた災害廃棄物委員の皆様、大変お疲れ様でした。

平成30年西日本豪雨の災害廃棄物処理は、当協会の後を引き継いだ岡山県災害廃棄物処理業務共同企業体により、昨年6月処理を完了しました。災害廃棄物処理に携わっていただいた会員の皆様、大変お世話になりました。

近年、産業廃棄物業界を取り巻く環境は大きく変化してきており、災害廃棄物処理への対応や資源循環への取組が大きな課題となっています。全国産業資源循環連合会では、我々業界の振興法の制定に向け、労働安全衛生、人材育成等の取り組みを推進しています。

協会では、引き続き廃棄物の適正処理と資源循環を目指し研鑽を重ねるとともに、災害廃棄物の処理支援に努めて参りたいと存じますので、会員皆様のご理解とご協力、また関係各位のご指導ご鞭撻の程宜しくお願い申し上げます。

会員皆様の益々のご盛栄、ご健勝をお祈り申し上げ、年頭の挨拶といたします。

循環型社会の形成の推進に向けて

岡山県環境文化部 部長 古南 篤子



明けましておめでとうございます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様におかれましては、平素から本県の環境文化行政の推進に多大な御理解と御協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

貴協会におかれましては、設立以来これまで、産業廃棄物の適正処理、リサイクルの推進に係る研修会の開催などの各種普及啓発、各地域における不法投棄物撤去事業や環境学習事業など、長年にわたり幅広く環境保全に関する活動に熱心に取り組まれており、深く敬意を表します。

また、平成30年7月豪雨災害による災害廃棄物の処理は、貴協会及び会員の皆様方の御協力も賜り、昨年6月17日に完了したところであり、改めてお礼申し上げます。

今回の経験を踏まえ、昨年3月に岡山県災害廃棄物処理計画を見直し、市町村や貴協会をはじめとした関係団体との連携体制などについて、より実効性のあるものにするとともに、昨年11月には、貴協会に御協力いただき、笠岡市において市と仮置場設置の訓練を実施したところです。今後とも、災害対応力の強化に努めていく所存ですので、引き続き御協力いただきますようよろしくお願いいたします。

さて、本県では、現在、県政推進の羅針盤である「第3次晴れの国おかやま生き生きプラン」と、環境の保全に関する総合的かつ長期的な施策の大綱である「岡山県環境基本計画(エコビジョン2040)(仮称)」の策定作業を進めているところであり、プラスチックごみによる海洋汚染などの新たな課題への対応も求められているところです。

また、来年度は第5次岡山県廃棄物処理計画の策定年になります。

第5次計画の策定に当たりましては、第4次計画の目標達成状況や各施策等の進捗状況を点検した上で、循環型社会への転換をさらに進めることができるものとなるよう取り組んでまいりたいと考えております。

廃棄物の適正処理、循環型社会の形成をさらに推進していくためには、行政機関のみならず、県民や事業者の取組も重要であり、とりわけ、豊富な経験や人材を有する貴協会と会員の皆様方との連携が不可欠でありますので、引き続き御理解と御協力を賜りますようお願い申し上げます。

最後になりましたが、貴協会と会員の皆様方の益々の御発展を心から祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

新年のご挨拶 ~持続可能なまちづくりの推進に向けて~

岡山市環境局 局長 國米 哲司



令和3年の新春を迎えるにあたり、謹んでお慶び申し上げます。

平素から一般社団法人岡山県産業廃棄物協会会員の皆様には、本市の環境行政の推進にあたりご理解とご協力を賜り厚くお礼申し上げます。

また、貴協会におかれましては、廃棄物の適正処理及びリサイクルの推進をはじめ、様々な活動を通じて循環型社会の形成にご尽力されており、心から敬意を表します。

昨年末、貴協会岡山東支部、岡山西支部及び岡山中央支部と本市の間で、「災害時における廃棄物処理の支援に関する協定」を締結させて頂きました。災害発生時における迅速な対応体制を築くことができたことは、大変心強く、あらためて感謝申し上げます。

さて、近年、地球温暖化の影響による大規模な自然災害の多発が懸念されており、環境負荷の少ない持続可能なまちづくりを進めることが求められています。

本市では、目標とする環境像「豊かな自然と調和した持続可能なまち おかやま」の実現を目指して、市民一人ひとりが地球環境や将来世代に配慮した行動を実践し、多様な自然環境と調和した豊かな暮らしを将来世代に引き継いでいくために様々な取組を行っています。

具体的には、岡山市地球温暖化対策実行計画において、2030年度に2013年度比で26%の温室効果ガスの排出削減を目標として、太陽光発電などの再生可能エネルギーの導入や省エネルギーの推進に加え、次世代のエネルギーである水素の利用を進めるため、家庭用燃料電池設備(エネファーム)や燃料電池自動車の導入を推進しています。

また、若い世代への啓発活動として、ごみの分別、減量、資源化等について小学生に説明を行う環境ごみスクールを開催しており、昨年はレジ袋有料化のタイミングに合わせて作成したSDGsのロゴ入りマイバッグを配布するなど、日ごろから環境問題に関心を持ってもらえるような取組も行っております。

一方、資源循環型社会の構築に向けた全国的な動きとして、現在その多くを焼却処分しているプラスチック製品について、資源化物として一括回収の対象とする取組が進もうとしています。また近年、注目を集める問題として、海にプラスチック類が流出し、生態系に悪影響を及ぼす海洋ごみ問題が挙げられます。さらに、食べられるのに捨てられる食品が大量に発生している食品ロス問題についても、より一層の対策が求められています。

こうした状況を踏まえ、本市では今後も地球環境と共存する豊かな将来像を目指し、新たな課題の解決に資するよう各取組を推進してまいります。

最後になりますが、今年こそは災禍のない穏やかな一年となることを期待するとともに、皆様の益々のご健勝とご多幸を祈念し、新年のご挨拶といたします。

新年のごあいさつ

倉敷市環境リサイクル局 局長 三宅 幸夫



令和3年の新春を迎え、謹んでお慶び申し上げます。

一般社団法人岡山県産業廃棄物協会におかれましては、産業廃棄物の適正処理やリサイクルの推進はもとより、業界関係者の指導・育成や産業廃棄物に関する知識の普及・啓発などの様々な活動を通じて循環型社会の形成の推進に御尽力されており、心から敬意を表します。また、貴協会並びに会員の皆様におかれましては、平素から倉敷市の産業廃棄物行政に対し、格別なる御理解、御協力を賜り厚くお礼申し上げます。

さて、去年は世界中が新型コロナウイルス感染症への対応に追われる1年となりました。日本国内においては、昨年1月に国内初の感染者を確認し、4月には緊急事態宣言が発出され、外出や経済活動の自粛を求められる事態となりました。その後も「新しい生活様式」を日常生活に取り入れることが求められる等、新型コロナウイルス感染症により、私達のこれまでの日常は一変しました。現在は外国でワクチン接種を実施している等の新型コロナウイルス感染症対策に希望を抱かせる話題も報じられていますが、今も沈静化の目途は立っていません。このような中でも廃棄物処理は国民生活・国民経済の安定確保に不可欠な社会インフラとされ、十分な感染拡大防止策を講じつつ、事業を継続することが求められております。貴協会並びに会員の皆様におかれましては、従業員の感染防止に留意しつつ、廃棄物の適正な処理を継続して行っていただくようお願い申し上げます。

話は変わりますが、本市は平成30年7月豪雨災害の経験を踏まえ、災害廃棄物処理体制の整備を図るため、貴協会をはじめとした民間事業者やボランティア関係団体と官民で連携し「災害廃棄物処理初動マニュアル」を今年度中に作成する予定です。これは昨年7月に経済・社会・環境の分野をめぐる広範な課題に統合的に取り組む事業として国の選定を受けた「自治体SDGsモデル事業」の一環です。このマニュアルは関係者との協議だけでなく、実地で仮置場の設置訓練を実施し、関係者それぞれの視点から掘り起こした課題を反映させたものとなっております。また、市民の皆様の災害廃棄物に関する課題への関心を高めて頂くことを目的として災害廃棄物処理ハンドブックを作成・配布し、災害発生時の対応力の向上を目指しております。さらに、昨年12月に貴協会倉敷支部及び倉敷南支部と災害廃棄物に関する協定を締結し、災害発生時の処理体制の構築をより一層進めています。

本市の施策の推進、ひいては循環型社会の形成、さらには環境問題への対処のためには貴協会並びに会員の皆様方のお力添えが必要ですので、昨年引き続きご理解とご協力をいただければ幸いです。

最後になりましたが、貴協会の益々の御発展と会員の皆様方の御健勝、並びに御多幸を心より祈念いたしまして、新年の御挨拶とさせていただきます。

令和3年年頭所感

公益社団法人全国産業資源循環連合会 会長 永井 良一



一般社団法人岡山県産業廃棄物協会の皆様、明けましておめでとうございます。旧年中は、当連合会の諸事業に対し、皆様の多大なるご理解とご協力を賜り、厚く御礼申し上げます。

昨年は、新型コロナウイルス感染症が世界中で問題となった一年でありました。我が国では、昨年1月中旬に初めて感染者が確認されて以降、国内の感染者が増加し、3月に東京オリンピック・パラリンピックの延期が決定、

4月から5月にかけて全国に緊急事態宣言が発令されるに至りました。その後、5月下旬に緊急事態宣言が解除、7月からは「GoToトラベル」のキャンペーン等が開始されたことにより、低迷していた景気が回復基調を示し始めた矢先、11月に入り感染者が急増するというめまぐるしさでした。

産業廃棄物処理業では、特に感染性産業廃棄物を取扱う事業者においては、新型コロナウイルス感染症に最大限の注意を払わなければなりません。また、この問題が長期化すればするほど、業界全体への経済的な悪影響も懸念されるところであります。本年もこのような状況が相当期間続くことが予想されることから、今後の状況を注視していく必要があると考えております。

さて、産業廃棄物処理業界は、安心・安全な産業廃棄物処理の確保に加え、近年は循環型社会や低炭素社会の実現に向けた資源循環の取組が強く求められるようになっていきます。本業界がこの社会的な要請に応えるためには、適正処理を確保することのみならず、廃棄物から資源・エネルギーをつくり出す産業への展開を加速することが必要です。

昨年12月には、廃棄物処理法が制定され産業廃棄物処理業が誕生して50年の節目を迎えました。本年は、これからの新たな半世紀を見据え、資源循環を牽引する本業界の健全な発展を図るため、連合会が提唱している「産業資源の循環的な利用を促進するための産業廃棄物処理産業の振興に関する法律案」の制定に向け、連合会政治連盟と連携し、この振興法制定の活動を一段と進めて参ります。

また、資源循環の事業を展開していくには、その事業に従事する人材の育成・確保が大切です。当連合会は、産業廃棄物処理業務に従事する者のレベルアップを図るため「業務主任者資格」の試行試験等を行い、同資格制度の創設を目指します。このほか、本業界への技能実習生の受入体制の整備や労働災害防止体制の強化などに取り組んでいきます。

貴協会におかれましては、業界発展のための歩みを連合会と一致団結して進めていただきますようお願い申し上げます。皆様の尚一層のご指導ご鞭撻を頂戴できれば幸に存じます。

本年が皆様にとりまして、健やかな一年となりますようにお祈り致しまして、新年の挨拶とさせていただきます。



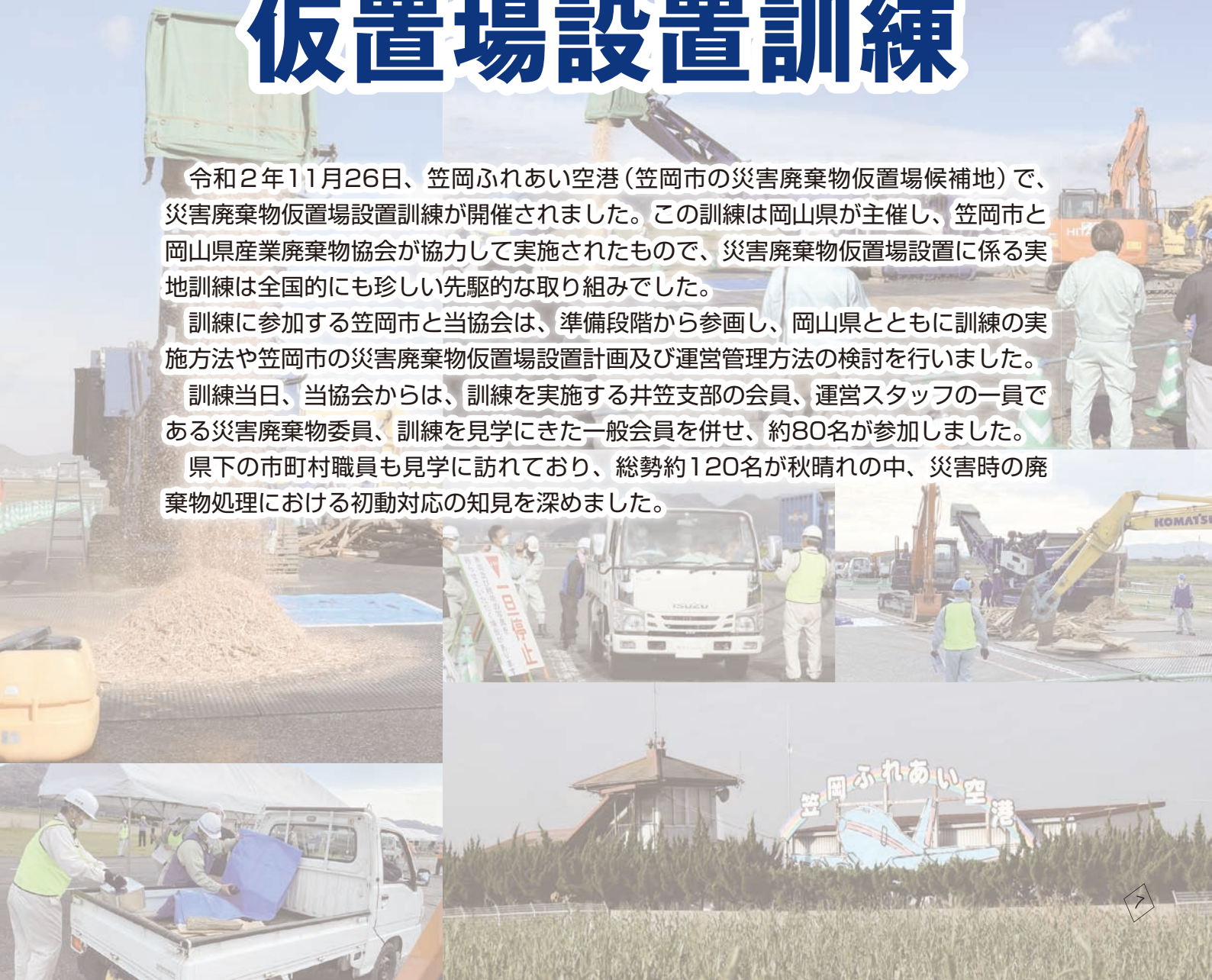
岡山県災害廃棄物 仮置場設置訓練

令和2年11月26日、笠岡ふれあい空港（笠岡市の災害廃棄物仮置場候補地）で、災害廃棄物仮置場設置訓練が開催されました。この訓練は岡山県が主催し、笠岡市と岡山県産業廃棄物協会が協力して実施されたもので、災害廃棄物仮置場設置に係る実地訓練は全国的にも珍しい先駆的な取り組みでした。

訓練に参加する笠岡市と当協会は、準備段階から参画し、岡山県とともに訓練の実施方法や笠岡市の災害廃棄物仮置場設置計画及び運営管理方法の検討を行いました。

訓練当日、当協会からは、訓練を実施する井笠支部の会員、運営スタッフの一員である災害廃棄物委員、訓練を見学に来た一般会員を併せ、約80名が参加しました。

県下の市町村職員も見学を訪れており、総勢約120名が秋晴れの中、災害時の廃棄物処理における初動対応の知見を深めました。



災害廃棄物仮置場設置訓練の実施結果について

岡山県環境文化部
循環型社会推進課一般廃棄物班

地震や水害など、災害発生時には、一度に大量の災害廃棄物が発生し、それらが路上などに排出され混合廃棄物化することを防ぐには、仮置場の早期設置が重要です。

岡山県では、災害が発生した際、災害廃棄物の処理主体である市町村が、迅速かつ的確に仮置場を設置し、適切な運営管理を行うことができるよう、笠岡市や貴協会の御協力の下、新たな取組として仮置場設置訓練を行いました。

訓練の概要

- (1) 訓練日時 令和2年11月26日(木) 10:30~15:00
- (2) 訓練場所 笠岡ふれあい空港(笠岡市カブト西町地内)
- (3) 参加団体 岡山県、笠岡市、(一社)岡山県産業廃棄物協会
- (4) 訓練プログラム

訓練プログラム① 仮置場設置(資機材設置等)訓練
(内容) 敷鉄板の敷設、散水用資機材、飛散防止用ネット付きバリケードの設置
訓練プログラム② 仮置場運営管理(搬入車両の受入れ)訓練
(内容) 災害廃棄物搬入車両の受入手順、不適正疑い車両への対応方法の確認
訓練プログラム③ 仮置場運営管理(前処理)訓練
(内容) 移動式施設を用いた破碎処理、畳の切断処理作業の確認

参加者

区分	人数
国立環境研究所(有識者)	1
笠岡市	5
岡山県産業廃棄物協会	35
岡山県	8
計	49

見学者

区分	人数
市町村等 (岡山市、倉敷市、玉野市、井原市、新見市、赤磐市、 真庭市、美作市、浅口市、里庄町、矢掛町、鏡野町、 美咲町、吉備中央町、岡山県西部環境整備施設組合)	25
岡山県産業廃棄物協会	42
計	67

訓練プログラム

時間	区分	内容
10:30~10:50	開 会	開会挨拶 (岡山県・笠岡市・協会・有識者)
10:50~12:05	訓 練	【訓練プログラム①】 仮置場設置 (資機材設置等) 訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・敷鉄板敷設 ・散水用資機材配置 ・飛散防止用ネット付きバリケード設置
12:05~13:00	昼食休憩	—
13:00~13:30	訓 練	【訓練プログラム②】 仮置場管理運営 (搬入車両の受入) 訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・搬入車受入対応 ・不適正物搬入車対応
13:30~14:15	訓 練	【訓練プログラム③】 仮置場管理運営 (前処理) 訓練 <ul style="list-style-type: none"> ・移動式施設による破碎処理 ・重機による畳の切断処理
14:15~14:25	自己評価	笠岡市・協会
14:25~14:45	講評等	国立環境研究所 (災害廃棄物対策専門員 宗清生氏)
14:45~14:50	閉 会	閉会挨拶 (岡山県)

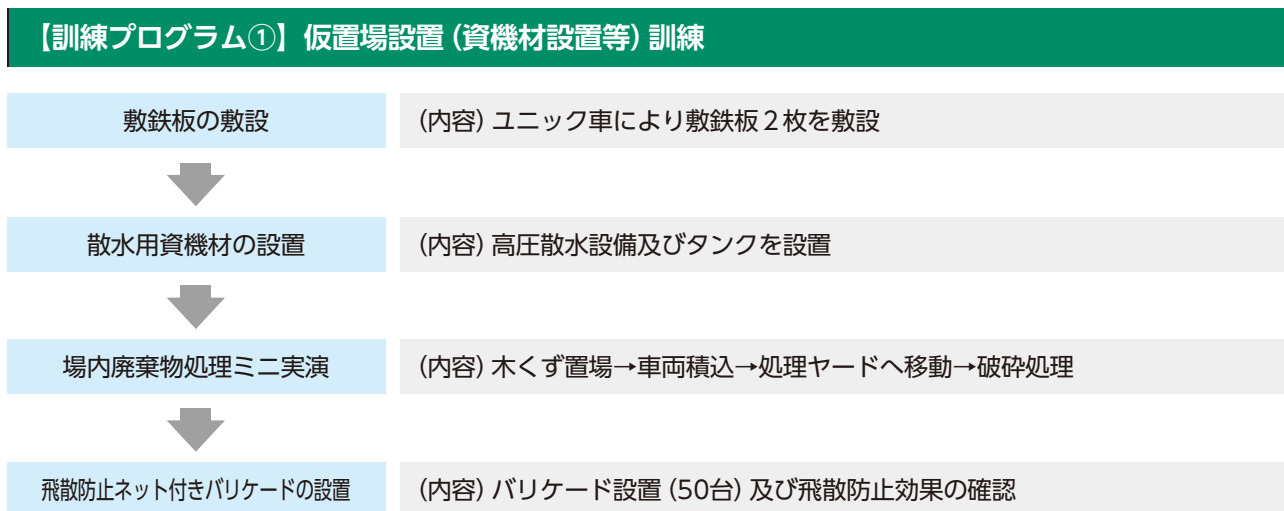


受 付



開会式

訓練プログラム別開催状況





敷鉄板の敷設



散水用資機材の設置



場内廃棄物処理ミニ実演①



場内廃棄物処理ミニ実演②



ネット付きバリケードの設置①



ネット付きバリケードの設置②

【訓練プログラム②】仮置場管理運営（搬入車両の受入）訓練

受入／検品

（内容）搬入車両への対応（軽トラック3台・2トン車1台）



場内誘導／荷下ろし

（内容）搬入車両の保管ヤードへの誘導、搬入者の荷下ろし補助



搬入車両の受付設置状況①



搬入車両の受付①



搬入物の検品



搬入車両の受付②



荷下ろし

【訓練プログラム③】仮置場管理運営（前処理）訓練

土間選別

(内容) 作業員の手選別による木くず中の異物除去



破碎処理（木くず）

(内容) 移動式破碎処理施設による木くずの破碎処理



切断処理（廃置）

(内容) 重機（バックホウ）による廃置の切断処理



処理後物対応

(内容) 処理後物の飛散防止（ネット掛け）・温度測定



土間選別



木くずの破碎処理



粉じん対策としての散水



廃置の切断処理



処理後物の温度測定

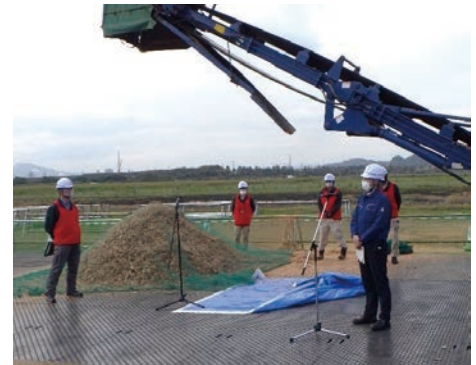
有識者の講評

(1) 講評者

国立環境研究所 災害廃棄物対策専門員 宗 清生氏

(2) 講評概要

- 混合廃棄物の発生を防ぐ有効な手法である仮置場の早期開設を目的とし、協会とも連携したこのような本格的な訓練は、全国的にも例がなく他の自治体の手本にもなる。
- 敷鉄板の敷設や受入手続に時間がかかることなど、市町村は貴重な情報を得られた。
- 円滑な処理には、自治体と処理業者など関係者間で信頼関係を築くことが重要であり、この点でも効果的な取組であった。



市町村見学者へのアンケート結果概要

- (1) 見学者数 14市町村25名
- (2) 回収数 14市町村21名(回収率：84%)
- (3) アンケート結果

区 分	とてもそう思う	そう思う	あまりそう思わない	そう思わない
参加してよかったか	18	3	0	0
訓練方法は適切か	15	6	0	0
訓練時間は適当か	12	8	1	0
必要な知識を得たか	11	10	0	0
実地訓練は必要か	13	7	0	0

(4) 主な意見・感想

- ・ 敷鉄板等の資機材の調達を迅速に行うことの大切さを理解した。
- ・ このような実践型の訓練でこそ、必要な知識が身につけやすいと思った。
- ・ 産業廃棄物処理業者との顔の見える関係づくりが大切だと思った。
- ・ 地元の協会員といろいろ話げできた。市災害廃棄物処理計画をもとに仮置場のシミュレーションするなど話をしてみようと思う。
- ・ 何もわからなかった廃棄物処理の流れがイメージできた。
- ・ 防塵、臭気対策、温度管理の重要性に気づけた。

そ の 他

- ・ 評価検討会で訓練結果を総括し、課題や改善点等を検証します。
- ・ 訓練結果等を取りまとめた事例集を作成し、訓練成果を市町村に水平展開します。
- ・ 本訓練は、今年度から毎年1箇所て3年間実施する予定です。

平成30年7月豪雨災害では、岡山県内で44万トン以上の災害廃棄物が発生しましたが、協会会員皆様の御尽力により、目標とした発災後2年間で処理完了することができました。

本県では、今後の災害に備えるため、本訓練事業などを通じて、処理主体である市町村と協会会員の皆様との「顔の見える関係づくり」にも取り組んでいます。

引き続き、関連事業への御協力、協会内での経験や技術の共有・継承についてよろしくお願いいたします。



©岡山県「ももっち・うらっち」

令和2年度 岡山県災害廃棄物仮置場設置訓練に参加して

笠岡市市民生活部環境課

令和2年11月26日、笠岡市カブト西町の笠岡ふれあい空港で「令和2年度岡山県災害廃棄物仮置場設置訓練」が実施されました。本市はこの訓練を「笠岡市災害廃棄物処理計画」で定める訓練と位置づけ、本市の災害廃棄物への対応力を強化するとともに、大規模災害発災初動期における貴協会との連携強化を図ることを目的として参加しました。

平成30年7月豪雨では、本市でも土砂災害や河川堤防の決壊などによる浸水被害が発生し、3,000トンを超える多量の災害廃棄物が発生しましたが、貴協会に処理の支援をいただいたおかげをもちまして、発災から2か月後に一次仮置場を、6か月後に二次仮置場を閉鎖することができました。また、被災家屋の解体等で発生した災害廃棄物についても、貴協会会員社の処理施設を利用させていただくなどして、令和元年6月までに全ての災害廃棄物の処理を終えることができました。ここに改めてお礼申し上げます。

この災害において、本市では仮置場の設置及び管理は直営で行い、作業の一部は一般廃棄物処理業者などに委託して運営しました。しかし、ひとたび大規模災害が発生した場合は仮置場を多数設置・運営する必要があるため、その全てを自治体が担うことは非常に困難であることから、関係機関との連携が鍵となります。

今回の訓練は、貴協会と岡山県、本市の3者が連携し、発災初動期に仮置場を迅速に設置し円滑に運営できるよう、仮置場の設置、災害廃棄物の受け入れ、災害廃棄物の処理の3つの訓練を行いました。仮置場の設置訓練では、設置場所周辺の環境保全や仮置場閉鎖後の原形復旧を踏まえた仮置場が速や



かに設置され、貴協会の技術力の高さが感じられる訓練が展開されました。災害廃棄物の受入訓練では、様々なケースを想定して災害廃棄物を迅速に受け入れるための訓練が行われ、貴協会と本市それぞれの役割に応じた作業手順を確認するとともに、受け入れに係る技術の共有を行うことができました。災害廃棄物の処理訓練では、中間処理施設の廃棄物受け入れ基準に適合させるための様々な処理方法が実演され、貴協会の災害対応力の高さを実感できました。

今回、実際の現場での動きを想定した訓練を体感できたことは、発災初動期に関係機関が連携して共通認識を持って対応することができるかと確信できた、大変意義のあるものとなりました。事前の準備も含めて今回の訓練に関わった全ての関係者の皆様に、この場を借りてお礼申し上げます。

近年は全国的に災害が激甚化しており、自治体や関係機関の連携や災害対応力の向上が必要不可欠となっています。今回の訓練の結果を検証して災害に備え、万一の被災時における迅速な復旧・復興につなげていきたいと考えておりますので、引き続きご協力とご支援を賜りますようお願い申し上げます。

災害廃棄物仮置場設置訓練に参加して

岡山県産業廃棄物協会 井笠支部 支部長 三好 員弘

いつ起こるかわからず、必ず起きる災害。その準備を常にしておくのは当然の事とはいえ、災害が起きるまでの期間が長ければ長いほど緩みが生じるのは仕方のないことかもしれません。災害の少ない岡山県で生じた豪雨災害の教訓の熱が冷めないこの時期に、いつくるかわからない次の災害への対応を、しっかり構築していくのは、災害を経験し、災害廃棄物処理に携わった者の責務であると思います。



災害廃棄物仮置場の設置計画の策定、訓練を通して、計画策定者と実施者の意思疎通の機会を与え、運営可能な計画の策定を通して、後の世代に至るまで、迅速な復興スキームの構築を成せるものであると思います。

開催に至る会議においても、災害廃棄物仮置場設置予定場所における配置、動線、予定配置者の人数、必要機材等、実際に災害が発生した想定での活発な議論がなされ、不具合等を洗い出すことが出来ました。いざ災害が起きたときはやるべき事が多く、すぐ動ける人員等も限られているために、事前にフォーマットとして作成できるものは作成し、引き継いでいくことにより迅速な対応が可能になると思います。

当日訓練に参加してくれた市町村関係者の皆様の意識の高さを感じる事が出来ました。私たちは

見慣れている作業においても、計画を策定する市町村担当者にとっては初めての作業であり、事業計画策定の参考になったと思います。例えば、図面上の鉄板1枚を敷設するにも重量物敷設は安全面、施工面でも大変であること、木くずなどの荷下ろしには作業範囲を思った以上にとらないといけないことなど。井笠支部が設営をしましたが、井笠支部会員も自分の頭で考え、行動できたと思います。当社社員も有意義だったと感想を述べており、事業の意識向上にも役に立ちました。いざ災害が起きたなら真っ先に動くべき当協会の意識向上、市町村担当者の意識向上の為に継続して当事業開催していただきたいです。

本事業で採用した代用敷鉄板の効果に対する問い合わせも多く、最新機材等を紹介し、地域に普及することも、災害時の迅速性を向上させる一助になると思います。今後ITを活用した災害廃棄物受け入れ管理等により、簡素化、迅速化、適正化等検討すべき課題は多くあります。災害廃棄物委員会を中心として常に最新の情報を入手し検討していくべきであると感じました。



岡山県産業廃棄物協会 井笠支部 副支部長 坂川 晃一

2020年11月26日に笠岡ふれあい空港で行われた災害廃棄物仮置場設置訓練に参加しました。官民一体となって、またこれだけ大規模な訓練は全国的にも希であるとの事なので、緊張した中で訓練は行われました。

当日は風もなく穏やかな天候で、私は高橋さんと指揮管理に携わりました。テレビ局による撮影があるという事で皆緊張しています。ユニックによる鉄板敷、木材のデモ破碎、飛散防止ネットの設営、搬入車両の受け入れ、異物除去、破碎物の管理について緊張の中、非常にスムーズに訓練は進んでいきます。当日のスタッフとしては井笠支部より23人もの協力を頂き、皆さん日頃から車両や重機に携わっている事から手慣れた手つきで訓練を行う事が出来ました。また一工程ごとに内容説明と解説を行った事により、参加者にも非常に解りやすかったのではないかと思います。

また会場設営にあたっては、事前会議を何度も行って行政と当協会とでヤードの配置やルートを検討したおかげで、ベストな設営ができ準備もスムーズに行う事ができました。

本訓練では、事前に協議及び準備された環境で行われましたが、もしもの有事の際にはこのようなスムーズな処理は出来ないと思いますが、この訓練を通じて官民が一体となって連携し、お互いが知識を共有し、この様な訓練を体験する事で少しでも早く災害対応する事を学んだと思います。また我々協会員も改めて存在価値を確認でき、勉強になる事も多く、非常に有意義な訓練だったと思います。

企画から運営まで携わって頂いた岡山県、笠岡市、建設技術研究所、そして産業廃棄物協会の皆様
に感謝と御礼を申し上げます。



岡山県産業廃棄物協会 井笠支部 副支部長 高橋 克実

この度、災害廃棄物仮置場設置訓練を全国で初めて行うと伺い驚き、訓練場所が当支部と聞き二度目の驚きでした。(頑張らなきゃいけない……)

事前に本部での打合へ参加させて頂き、県、市の担当者様、協会各支部長、会員皆様、協会事務局の方と、何度も手探りの中での協議となりました。その中で経験のある方の意見等を聞くことができとても参考になりました。

前日準備では曖昧な部分を残した状態での作業となりました。作業が開始となると、事前に打合せしていた事もあり迅速に準備は進みましたが、現場ならではの想定外など多々発生しました。しかし、そこは日頃の知識と現場対応にてクリアできたと思いました。

当日はリハーサル無しの本番となり、支部長、建技研、県担当者様にて進行となりました。

初めての経験で各担当者は緊張し作業開始となりました。

実際、作業していく中で事前に作業内容を打合せしていたのですが、その通りには進行しませんでした。

今回の訓練で経験した事はあくまでも予測できるものであり、実際の災害現場では何が起きるか分かりません。

今回の訓練を経験し、官・民一体となり初動の情報共有の大切さ、並びに協会の団結力というのがどれだけ大切なものか実感しました。

最後に、この様な訓練をしなくても良い環境造りを目指していきたいと思いました。

無事事故もなく、訓練に対しご尽力いただきました関係者の方に感謝いたします。

ありがとうございました。



災害廃棄物仮置場設置訓練を見学して

岡山県産業廃棄物協会 津山支部 事務局 妹尾 和臣

令和2年11月26日(木)、笠岡ふれあい空港にて全国で初となる訓練が開催されることを受け、井笠支部が担当支部ではありましたが、津山支部は第1回の検討委員会からオブザーバーとして参加しています。

その理由は、岡山県の計画では仮置場の設置訓練は全3回を予定しており、来年、岡山県北部での開催となる可能性があることから、津山支部が担当になったとしても滞りなく訓練が運営できるようにする為です。

打ち合わせに参加する度に今回の訓練に対する岡山県循環型社会推進課の方々や笠岡市の方々、当協会の方々などの熱意に触れることができ、訓練当日以外も参加を申し出てよかったと強く感じています。

当日は支部の体制整備も兼ねて役員を始め総勢11名で見学に参加。

訓練は資機材設置から受入そして前処理と、仮置場設置から運用までの流れを丁寧に説明を加えながら行っていました。特に養生の為の敷鉄板を敷く際は、思っていた以上に時間と作業員の人数が必要なことを知り、実際に見学出来て非常に参考になりました。また、井笠支部長から鉄板の代用品である軽くて耐久性が高い樹脂製敷板の話を見学時に紹介して頂き、その代用品の有効性も比較して確認することができました。まだあまり普及されていない為、今回は鉄板での訓練となりましたが、災害時は少しでも早くという状況を考えると今後は必需品になると思います。

受入訓練の際は、市民役の方などの臨場感のある熱演で、現実味があり素直にその大変さを受け取ることが出来てよかったと思います。



廃棄物の不正な持ち込みを防止することも大切ですが、災害時はどれだけ心に余裕がなくなり、本当に過酷な現場になってしまうということがよく理解できました。

一方前処理訓練の方は非常に大型の破砕機を用いての訓練で、この時は一時的に見学者がいる方向に粉塵が舞ってしまうことがあり、それが現場のリアルな感じがでていたのではないかと感じました。

また、大型の重機の作業に目を奪われがちですが、重機による前処理に重要なのは事前の選別ということが訓練でよくわかりました。災害時のあわてふためく中でどこまで事前の段取りができるかが重要だと思いますが、その為にもこの訓練は本当に必要な事であると改めて感じた次第です。

仮置場の設置訓練を見学する前は、もし津山支部が担当する地域で訓練を行う際はどのように重機を用意しよう、どう段取りをしたらいいだろう、今回のようにキチンとできるだろうか、と考えて不安で一杯でした。しかし、この訓練を行っていない状態で実際に万が一のことが起こったことを考えた方が本当に不安を感じることに気が付きました。残り2回のうちどちらかで津山支部が担当する訓練の機会を頂けるようであれば、万全に備えて体制を整備し、訓練を実施したいと考えています。

最後に、今回の訓練に関わった全ての皆様、大変お疲れ様でした。ありがとうございました。



災害廃棄物仮置場設置訓練を終えて

岡山県産業廃棄物協会 災害廃棄物委員会 委員長 高谷 耕治

近年、水害、地震など災害が多発している中、平成30年豪雨災害が発生し、被災地からの災害廃棄物の撤去や仮置場の設営などを協会でも支援しましたが、その際の初動対応の遅れや他団体との連携不足など反省と課題から、現在、協会内で災害廃棄物委員会を立ち上げ、初動体制の整備、運用強化等に取り組んでいます。

この度の岡山県主催の、災害廃棄物仮置場設置訓練の目的は発災初動機に市町村が迅速かつ的確に仮置場を設置運営できるよう、県、市町村、協定締結団体が連携し、仮置場訓練をモデル的に1市町村3年間で実施し事業内容を事例集として取りまとめ、県市町村と共有し水平展開する事です。

初年度は、笠岡市で地震を想定した訓練を実施。配置計画、資機材の準備、運営を井笠支部で対応しました。当日は朝早くからテキパキと作業をこなし、チームワークも良く、真剣な取組みに、正直ここまで出来るとは思いませんでした。

三好支部長のリーダーシップのお陰でしょう。

私は、委員長の立場で、岡山県さんの訓練に対する強い想いも感じ、意味のある訓練にしなければ、成功しなければと、結果ばかり考えていた様に思います。県の担当者から「訓練のための訓練はいりませんよ、回を重ねるごとに、円滑に迅速に出来れば良いから」との言葉に、実際そうだと、訓練を重ね新たな課題を見つけ、検証し改善していく事が、本当に意味のある訓練だと実感しました。

来年は県北での開催予定です。回を重ね、この事業が岡山県下自治体のモデル事業となり、災害地の早期の復旧復興につながると確信しています。

最後になりますが、いつ何処で起こるかわからない災害に備え、協会として何が出来るか、何をしなければならないのかを常に考え、自治体の信頼や期待に応える体制を構築してまいりますので、皆様のご理解ご協力をお願い致します。



報道機関のインタビューに対応する高谷委員長



岡山県からのお知らせ

産廃の違法運搬を食い止める！

～抜き打ち検査を実施しています～

1 取組の概要

岡山県では、産業廃棄物の適正処理を確保する方策の一つとして、県外からの産業廃棄物の搬入に係る事前協議制度を設けています。

この制度により、産業廃棄物の適正処理や県外からの搬入抑制に一定の効果が上がっていると思われませんが、事前協議を経ることなく県外から産業廃棄物が搬入されるケースも散見されます。

こうした背景から、平成15年度から年に数回、警察の協力を得て主要幹線道路において産業廃棄物を運搬している車両の抜き打ち検査を実施し、廃棄物の種類・性状、排出事業者、運搬先等を確認するとともに、マニフェストとの突合、必要書類の点検等を行っています。

2 路上検査の結果

令和2年は、10月6日から16日にかけて、岡山市及び倉敷市と時期を統一して実施しました。

	岡山県	岡山市	倉敷市	合 計
停車指示車両数	27台	15台	4台	46台
うち産廃関係車両数	13台	8台	2台	23台
うち指導台数	3台	5台	1台	9台

3 指導事項と対策

- 多い指導事項は、車両への表示不備、有効な許可証の写しの不携行、マニフェストの不携行や記載不備であり、すぐに改善できる内容ですので、この機会に確認をお願いします。
- 産業廃棄物を産業廃棄物でないと思いこみ運搬するケースも散見されますが、契約締結時等の機会を捉えて排出事業者から排出工程等を聞き、産業廃棄物担当窓口で確認すれば未然に防げる場合がありますので、こうした確認を徹底していただき法令違反となるような事態を回避してください。

4 今後の取組

幸い、現在まで悪質な違反事実は確認されていませんが、産業廃棄物の不適正処理は、生活環境に大きな影響を与えかねない問題です。本県では、今後とも路上検査を継続する予定ですが、さらに効果的な実施方法について検討していく必要があると考えています。

岡山県からのお知らせ

大気汚染防止法の改正

石綿飛散防止のための規制が強化されます！

建築物等の解体等工事における石綿の飛散を防止するため、令和2年に大気汚染防止法が一部改正され、すべての石綿含有建材への規制対象の拡大、県知事等への事前調査結果報告の義務付け、作業基準遵守の徹底のための直接罰の創設等について、規制が強化されました。

改正の概要

◎ 令和3年4月1日施行

1 規制対象の建築材料の拡大

建材の区分	取扱い	改正前	改正後
レベル3 石綿含有成形板など	作業基準	なし	あり
	特定粉じん排出等作業実施届出書	不要	変更なし* (不要)

※ 特定粉じん排出等作業実施届出書の提出は不要ですが、作業計画を作成する必要があります。

〈レベル3建材の作業基準の概要〉

- ・切断や破碎等をせずに手ばらしによる取り外し
- ・手ばらしが難しいときは、対象建材を薬液等で湿潤化してから除去

2 吹付施工による石綿含有仕上塗材の取扱いの整理

規制対象	取扱い	見直し前	見直し後
吹付施工による石綿含有仕上塗材	建材の区分	レベル1	レベル3*
	特定粉じん排出等作業実施届出書	必要	不要

※ 吹付けパーミキュライト、吹付けパーライトは従来どおりレベル1建材に該当し、特定粉じん排出等作業実施届出が必要です。

3 元請業者及び下請業者の責務

規制対象	建材の区分	取扱い	改正前	改正後
石綿等の除去作業	レベル1～3	作業基準の遵守義務	元請業者に対して 間接罰あり	元請業者及び下請負人に対して 間接罰あり
	レベル1・2	適切な方法による除去	規定なし	元請業者及び下請負人に対して 直接罰あり

4 発注者への作業結果の報告

元請業者は除去等作業が適切に行われているか確認し、その結果を発注者に報告する義務が新たに設けられます。

5 その他の改正内容

上記の改正のほか、レベル1・2建材の作業基準の一部、事前調査の方法、事前調査結果等の記録・掲示の方法、集じん・排気装置の正常な稼働の確認方法、元請業者の下請負人への指導義務、知見を有する者による作業完了の確認などについても規制の強化等が行われています。

◎ 令和4年4月1日施行

【事前調査結果の報告】

元請業者が事前調査結果を工事前に県知事(岡山市、倉敷市又は新見市の場合は各市長)に報告する義務が新たに設けられます。(報告は原則として電子システムを利用したものとなる見込み)

◎ 令和5年10月1日施行

【有資格者による事前調査】

建築物については、「建築物石綿含有建材調査者」等の有資格者しか事前調査を行うことができなくなります。

お問い合わせ

○岡山県環境文化部環境管理課 TEL：086-226-7302(直通) FAX：086-224-2147

※岡山市、倉敷市又は新見市内の解体等工事については、各市役所環境担当課にお問い合わせください。

PCB使用安定器の処分期限は今年度末！！

事務所等の照明器具の安定器のPCB使用の有無の確認をお願いします

【PCBとは】

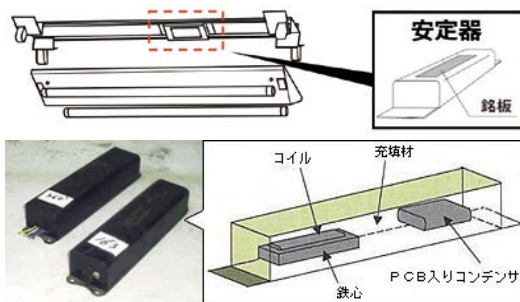
電気機器の絶縁油などに利用されていましたが、昭和43年のカネミ油症事件を契機として有害性が社会問題化し、昭和47年に製造が中止されました。

【PCB使用安定器とは】

昭和32年1月から昭和47年8月に製造された安定器には、PCBが含まれている可能性があります。

昭和52年3月以前に建築・改修された建物には、PCB使用安定器が使われた可能性があります。

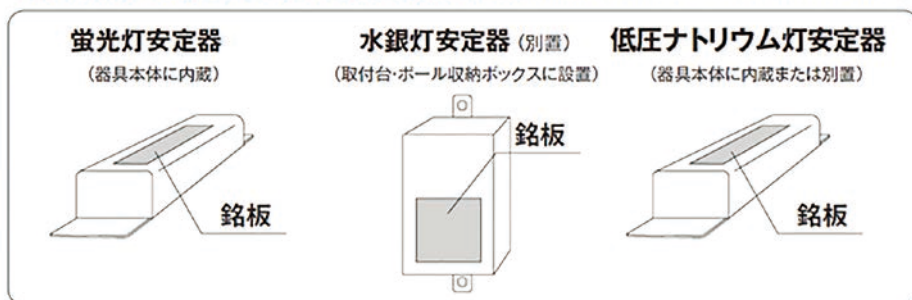
※一般家庭用の照明器具にPCBを使用した安定器はありません。



【PCB使用安定器の判別方法】

安定器の銘板情報を元に、製造業者の問い合わせ窓口ご連絡して確認してください。製造業者の連絡先は、各社又は一般社団法人日本照明工業会HPを参照願います。

安定器の種類によりPCBコンデンサが使われています。安定器の種類等は「銘板」で確認できます。



(一社) 日本照明工業界HP <https://www.jlma.or.jp/kankyo/pcb/index.htm>

【PCB使用安定器の処分】

《処分期限》

ポリ塩化ビフェニル廃棄物の適正な処理の推進に関する特別措置法（PCB廃棄物特別措置法）に基づき、**今年度末（令和2年度末）までに処分**しなければなりません。期限内に処分しないと、処分できなくなります。

《処分方法》

岡山県内のPCB使用安定器は、中間貯蔵・環境安全事業（株）（JESCO）の北九州事業所で処分することとなっています。

処分に際し、JESCOへの事前登録及び処分契約が必要です。

中間貯蔵・環境安全事業（株）HP <https://www.jesconet.co.jp/customer/index.html>

PCB使用安定器が発見された場合、
岡山県循環型社会推進課（電話：086-226-7308）に直ちに御連絡ください。

中国四国地方環境事務所からのお知らせ

PCB廃棄物の 期限内の処理をお願いします!

～ PCB使用安定器は、令和3年3月31日までに処分する必要があります～

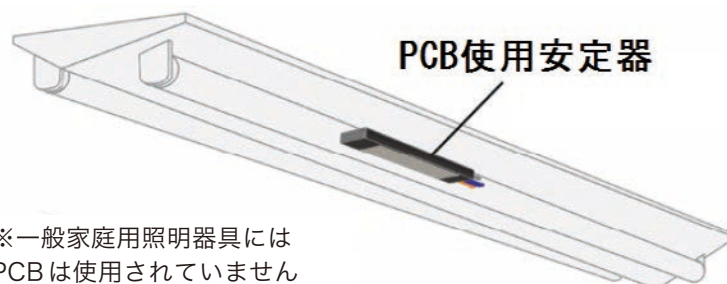
PCB (ポリ塩化ビフェニル) について

PCBとはPoly Chlorinated Biphenyl (ポリ塩化ビフェニル) の略称で、人工的に作られた、主に油状の化学物質です。PCBの特徴として、水に溶けにくく、沸点が高い、熱で分解しにくい、不燃性、電気絶縁性が高いなど、化学的にも安定な性質を有することから、電気機器の絶縁油、熱交換器の熱媒体、ノンカーボン紙など様々な用途で利用されてきましたが、現在は製造・輸入ともに禁止されています。

PCB使用安定器とは

安定器とは、照明器具の電流、電圧を制御し、光源として安定的に利用できるようにするための装置です。そのうち、PCB入りのコンデンサーを使用したものが該当します。

昭和32年1月から昭和47年8月までに国内で製造された照明器具の安定器には、PCBが含まれている可能性があります。



昭和52年3月までに建てられた事業用建物の
照明器具はPCB使用の可能性があります



お問い合わせはこちらまで
中国四国地方環境事務所 資源循環課 PCB担当
TEL : 086-223-1584

備北
支部

高梁クリーン作戦

高梁クリーン作戦は2020年10月31日（土）に行われました。昨年は雨の中のクリーン作戦でしたが今回は晴天での清掃作業となりました。

今回の高梁のクリーン作戦はコロナ禍での作業でしたが、大勢の人が参加してでの作戦となりました。また高梁市主催の「環境フェアinたかはし2020」に合わせての高梁川流域のクリーン作戦でした。

高梁市・高梁市教育委員会・高梁市環境衛生協議会、岡山県内水面漁協同組合連合会、高梁川漁業協同組合、成羽川漁業協同組合、高梁川流域連名、市内の小学生などすべての人が参加しての作業で協会員併せて約200名での作業となりました。今回も協会員は備北支部クリーン作戦用の青ジャンパーを着用での参加でした。産廃協会員の参加者は8社13名と大勢の協会員に参加いただきました。このジャンパーのおかげで、大勢の参加者の中でも誰がどこにいるのか一目瞭然で、艶やかな青色ジャンパーが協会員の参加をさり気なくアピールすることも出来ました。収集エリアは落合橋から方谷橋の高梁川沿いの高梁川流域の川沿で行われました。川沿いは参加の小学生が捻挫をするほど川原の石が丸いため足場が不安定でしたが、大きな事故もなく無事、午前中に終了しました。

拾ったゴミは空き缶、コンビニ弁当などの可燃物が約200キロほどでしたが、プラゴミが多く今の時代を象徴しているのを感じました。不燃物も約100キロほどありましたが、あっという間に用意したトラック、パッカー車一杯となりました。今回は、今問題になっている海洋プラスチックが海に流れていく量を、環境学習をかねて小学生の参加者に分別作業をしてもらい、ゴミの実態を認識してもらう場を設けていました。昨年に引き続き今年も今回参加人数が多く、また参加者の皆さんの手際のよい作業のため、あっという間に川沿いはきれいになりました。

この高梁市主催の高梁川流域のクリーン作戦は毎年行われますので、協会も引き続き参加させてもらうようにしていきたいと思えます。今回は地域の人の協力のもと、事故もなく無事クリーン作戦が終了することができましたことに改めて感謝申し上げます。



備北
支部

新見クリーン作戦



新見クリーン作戦は11月5日(木)に行われました。当日は晴天でしたが少し肌寒い日でした。

今年のクリーン作戦は昨年と趣向を変え、いつもは河川のゴミの撤去でしたが、今回は哲多町の山の道路沿いのゴミを新見市環境衛生協議会主催によるクリーン作戦でした。

新見市・新見市環境衛生協議会、産業廃棄物協会備北支部新見会員が参加しての作業で、協会員併せて約60名での作業となりました。

今回も協会員は備北支部クリーン作戦用の青ジャンパーを着用での参加でした。

産廃協会の参加者は9社12名と大勢の協会員に参加いただきました。

この青色ジャンパーは山間の紅葉の中でひときわ目立ち、一目瞭然で協会員の参加をアピールすることも出来ました。

哲多町の健康の森ふれあい広場の駐車場に集合して、上下に分かれてクリーン作戦現場に行きました。クリーン作戦の現場の道路沿いは、11月なのには草が覆いかぶさっており、草の中にゴミが隠れて斜面のため足場が不安定でしたが、大きな事故もなく無事、午前中に終了しました。

今回のメインの作業は、道路沿いの草の中の空き缶、ペットボトル、コンビニ袋などのプラスチックの撤去でした。空き缶、ペットボトル、コンビニ袋だけでも用意した2トントラックに一杯となりました。

昨年に引き続き、今年も今回参加人数が多くまた参加者の皆さんの手際のよい作業のため、あっという間に道路沿いはきれいになりました。

この新見市環境衛生協議会主催の新たなクリーン作戦は、高梁川流域のクリーン作戦と同様に来年も行われますので、協会も引き続き参加させてもらうようにしていきたいと思えます。

今回は地域の人々の協力のもと、事故もなく無事クリーン作戦が終了することができましたことに改めて感謝申し上げます。



青年部会に委員会を設置しました

新型コロナウイルス感染拡大の影響で大きな行事の開催を自粛する中、青年部会では、活動への参加意欲の向上、活動内容の充実、次代のリーダーの育成等、今後の青年部会活動を円滑に推進する体制づくりに取り組むこととし、令和2年7月21日、青年部会内に委員会を設置しました。設置した委員会は、教育研修委員会、環境学習委員会、交流委員会で、青年部会員の皆様にはいずれかの委員会に所属していただき、活動していただくこととなりました。

教育研修委員会

委員長

田中大一（岡山東支部 牛窓港湾運輸株）

教育研修委員会の委員長になりました、牛窓港湾運輸株の田中でございます。

活動内容は、勉強会、隣県交流会、視察研修会などを企画する委員会です。

1名でも多くの方にご参加頂きたいと思っておりますので、宜しくお願い致します。

委員構成：池田洋一、古山久幸、室山圭吾、塚原義人、造田 修、塚本 歩、安福太佑、芳信和稔、中山一将、藤原慎大、高橋克実、下谷憲佑、三原昌守、田中大一

環境学習委員会

委員長

石原慎祐（岡山中央支部 (有)吉美）

このたび青年部会の事業を分担して行うため委員会が発足し、その中で環境学習委員会の委員長をさせて頂くことになりました石原でございます。具体的には親子エコツアー内で行う環境学習や小学校に出向いて環境学習を行うことが主な活動となります。お忙しい中とは思いますが、青年部会の事業活動にご協力頂き、1名でも多くの方に活動にご参加頂きたいと思っておりますので、何卒宜しくお願い致します。

委員構成：宇野公二、的場雄一、大国直行、岡野英隆、平林久尚、甲元 平、油谷晃幸、福田竜也、並松ミカ、白神正太、内田 航、中村康徳、藤井友弘、村角隆幸、石原慎祐

交流委員会

委員長 木下聖士（岡山東支部 新岡山陸運株）

交流委員会の木下です。新型コロナウイルスが猛威を振るい、なかなか皆さんで集まる機会も減ってきている中、できる限りの交流ができればと思っております。例年ですと視察研修や他県との交流があったのですが、状況を考えながら企画していければと考えております。岡山だけの慰労会は、コロナに対する考え方の感覚の違いがあるとは思いますが、希望者だけでも集まればと思っております。せっかくですので楽しく行きたいとおもいます。よろしく申し上げます。

委員構成：蓬莱富孝、畑 英男、大塚 翔、田中久也、塩田 誠、野田一彦、野上正則、小寺智也、中野貞治、三宅秀美、高谷修治、花岡 剛、佐倉孝行、河原 淳、池田直隆、坂田憲治、木下聖士

令和2年度全国産業資源循環連合会 青年部協議会中国ブロック研修会 岡山で開催される

令和2年11月6日、全国産業資源循環連合会青年部協議会中国ブロック研修会が岡山プラザホテルで開催されました。

新型コロナウイルスの感染拡大により、リモートワーク導入をはじめデジタル化の機運が高まっている中、「産業廃棄物業界（資源循環ビジネス）におけるIoT（Internet of Things）への挑戦とAI（人工知能）の活用を考える」と題し、IoTソリューション・スペシャリストとして活躍しているアマゾンウェブサービスジャパン(株)の門田進一郎氏を講師に迎え講演していただきました。

中国5県から集まった参加者は30数人と少数でしたが、我々業界におけるIT活用に向け、何から取りかかれば良いのかなど事例を交え分かりやすくお話いただきました。

AmazonGo（レジに人がいない無人コンビニ）で使われているような技術を産業廃棄物業界にも導入し、無駄なくスムーズに仕事が進めて行ける未来を創っていきたくと思いました。

【講師紹介】

IoTソリューション・スペシャリスト
門田進一郎氏

1999年：NTTに入社。国内／海外回線やクラウド事業を展開するNTTコミュニケーションズで、法人向けの技術分野からサービス開発、営業企画と幅広く経験。

2015年：アマゾンウェブサービスジャパンへ転職。IoTを中心とするAWS（Amazon Web Services）のソリューションを、全国中堅・中小／スタートアップ企業のお客さまへと推進する。



新入会員の紹介

津山支部	(有)フクイクリーン	常務取締役	上杉 有梨 様	令和2年10月31日入会
岡山中央支部	(株)デベロップ岡山	代表取締役	田口 勝 様	令和2年12月11日入会

青年部会教育研修委員会「勉強会」の開催

2020年12月11日に岡山商工会議所に於いて、青年部会の教育研修委員会主催による第1回勉強会を開催し、株式会社ターザン代表取締役の吉田栄一様を講師としてお招きして「SDGs」をテーマに講演して頂いた。

SDGsとは「Sustainable Development Goals」の略で日本語では「持続可能な開発目標」を意味し、2015年9月の国連サミットで採択され、国連加盟193か国が2016年から2030年の15年間で達成するために掲げた目標である。SDGsでは「貧困をなくそう」や「気候変動に具体的な対策を」など、あらゆる国際的な社会問題が網羅された17の大きな目標と、それらを達成するための具体的な169のターゲットで構成されている。

しかし、残念ながらSDGsは株価上昇などお金儲けの道具になってしまっていると、講師はSDGsの現状を語ってくださった。企業が短期的な利益だけを追求し、SDGsのような社会問題を後回しにしてしまうようであれば、企業統治の面で問題を引き起こす可能性があり株価が暴落することがある。それを回避するために、投資家たちがSDGsを投資基準として利用するようになった結果、SDGsの本質を見失うことに繋がってしまったようだ。



一方で、SDGsに対する社会の関心が高まる中、当協会に所属する企業様にとってはSDGsへの取り組みを無視することはできないだろう。「事業活動範囲外のSDGsに取り組むのではなく、自社の事業活動をSDGsに結び付けるのが賢明である」という講師の言葉が一番印象に残っている。それは講師のSDGsへの取り組みの経験を踏まえた貴重なアドバイスであり、当協会に所属する企業様であれば、既に産業廃棄物の適正な処理を通じて社会貢献をしているのだ、ということ再認識することができた。

SDGs関連について大小様々な補助金や助成金の制度があることも紹介していただいたので、それらの活用も検討しながら、SDGsの本来の目標を達成させるために事業活動で社会貢献していきたいと、今回の勉強会に参加したことで強く感じる事ができた。

ご多忙中にもかかわらずご講演をご快諾して頂いた吉田様に、この場をお借りして重ねて御礼申し上げます。



環境おかやま大賞等 表彰式

令和2年12月20日(日)岡山コンベンションセンターで環境おかやま大賞表彰式、循環型社会形成推進部門として一般社団法人岡山県産業廃棄物協会青年部会が受賞しました。

産業廃棄物に関する県民への広報啓発事業として、平成13年から次世代を担う小学生をはじめ、大学生や大人など県全域の幅広い世代を対象に、体験学習会などの環境学習活動に継続して取り組んできました。今年度はコロナ禍の影響があり、思うように活動できていませんが、このような状況を利用して、環境学習内容の改定などの準備を進めています。



また、環境保全推進部門、環境美化推進部門、地球温暖化防止活動推進部門、おかやま・もったいない！小学生ファミリーエコチャレンジコンテスト、わたしのプラごみ削減テクニック、おかやまエコスクール、このようにたくさんの方々が環境活動に取り組んでいること、また活動内容にも非常に刺激を受けました。

今回の受賞で、いままでの青年部会活動が認められたことは、大変うれしく思うと同時に、今後は他団体の模範となるようさらに尽力していきたいと思えます。



緑十字賞 受賞にあたり

安全衛生委員会 委員長 松本 俊成

この度、私は「令和2年度緑十字賞」を受賞いたしました。

岡山県協会や中国地区ブロック協議会からご推薦を頂き、受賞することができました。このことは県協会の理事の皆様、安全衛生委員会の皆様、そして会員の皆様のお陰であると感謝申し上げます。

現在、県協会の安全活動は安全衛生委員会が中心となって活動をしております。各会員様へはHHK（ヒヤリ、ハット、キガカリ）の抽出をお願いしているところですが、まだまだ十分とは言えません。

災害の無い職場環境は地道な安全活動の上に作られます。スローガンの唱和や指差呼称の実践などの出来ることからまず始めることが大切です。コロナ禍だからこそ何かを変えていく事が出来るのではないのでしょうか。

他の業界と比べると安全に対する意識が低いと言われております。その様な評価を覆したいと、これからも努力していく所存ですので、会員の皆様には、ご協力の程よろしくお願い申し上げます。



災害廃棄物処理支援における 広域連携体制の整備について

災害廃棄物委員会

当協会では、災害廃棄物処理支援体制強化の方針の中で、大規模災害時に協会員だけでは対応できない場合を想定し、広域連携体制を整備することとしています。連携先としては、中国ブロックでの地域連携や全国レベルでの広域連携が考えられますが、協会はこのたび、全国レベルで災害廃棄物処理の支援活動を行っている（一社）日本災害対応システムズと支援協定を締結しました。これにより、協会が行う災害廃棄物処理活動のバックアップ体制が一つできました。

締結者 一般社団法人日本災害対応システムズ 理事長 上野 篤
一般社団法人岡山県産業廃棄物協会 会長 大塚雅司
協定名 災害廃棄物処理の支援に関する協定
締結日 令和2年12月4日

政令市と支部との 災害廃棄物処理支援協定の締結について

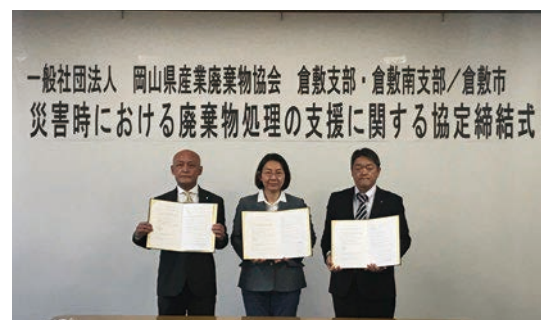
災害廃棄物委員会

廃棄物処理法の政令市である岡山市と倉敷市は、一般廃棄物業務に併せ産業廃棄物業務も所管しており、人員面でも技術面でも他の市町村とは異なり、災害時には市直営での仮置場の設置や運営も考えられ、協会は市の指揮監督下で、車両や資機材の提供や処理先の調整などの業務を求められることが想定されます。そこで、このたび市と支部で協定を結ぶことで、意思の疎通を図り、より迅速な初動対応に資することとしました。

締結者 岡山市 岡山市長 大森雅夫
一般社団法人岡山県産業廃棄物協会
岡山東支部 支部長 松本俊成
岡山西支部 支部長 泉 正昭
岡山中央支部 支部長 藏本 悟
協定名 災害時における廃棄物処理の支援に関する協定
締結日 令和2年12月18日



締結者 倉敷市 倉敷市長 伊東香織
一般社団法人岡山県産業廃棄物協会
倉敷支部 支部長 井上正士
倉敷南支部 支部長 高谷耕治
協定名 災害時における廃棄物処理の支援に関する協定
締結日 令和2年12月23日



災害廃棄物処理支援における 初動体制の整備について

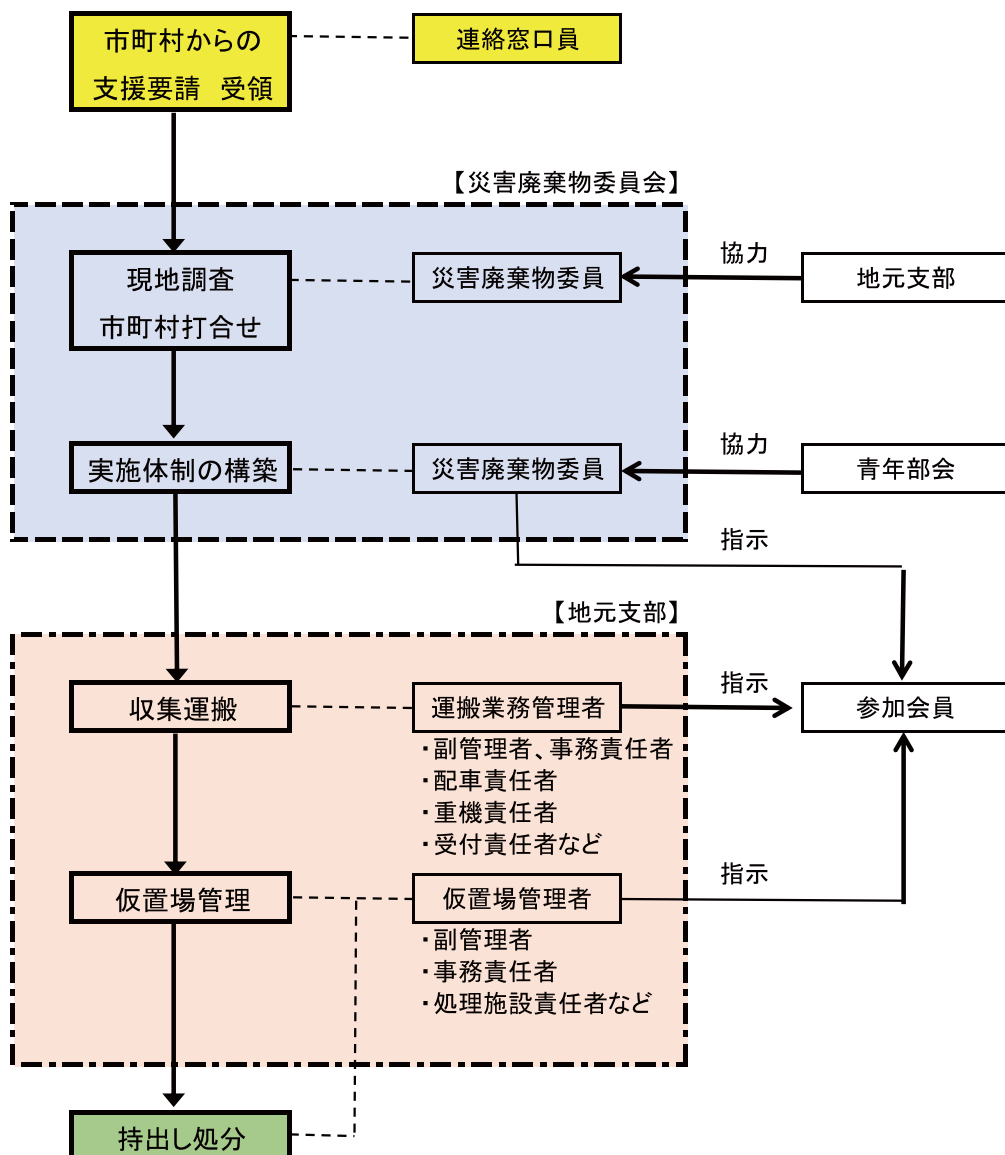
災害廃棄物委員会

当協会では、災害廃棄物処理支援体制強化の方針（クリーン岡山61号に掲載）に沿って、発災時に即応した初動体制の整備に取り組んでいます。

市町村ごとの連絡窓口の設置、支援会員の把握、提供できる資機材調査などを進め、災害廃棄物委員会と地元支部が連携した初動体制の構築を目指しています。

現在、各支部内の体制整備に取り組んでおり、単独の支部だけでは対応できない場合は、複数の支部が連携して対応する体制を調整して参りますので、会員皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。

協会における災害廃棄物処理の初動体制図（案）



私の蘭

備北支部 (株)平松運輸 平松敬史

私は20代後半に田舎の山で木炭を焼いていました。山の粘土を突いて、昔ながらの炭焼き窯です。窯を作るときには、最初アカマツを炭材として焼きます。カロリーが高く窯の粘土が焼きあがります。無酸素の熱処理なのでダイオキシンは合成されません。

当時、昔の炭焼き職人が残っており、教えてもらいながらの作業でした。炭焼き職人は1人で山を15~20カ所受け持っており、15~20年で最初の元の山へ戻ります。15~20年で山の薪の木は元の森へ再生していきます。本当のカーボンニュートラル、再生可能エネルギーを獲得していました。

材料となる槇の木は、11月下旬~2月に伐採し4月には、切り口から新たな芽が2~3本成長していきます。そんな中、5月初旬、山の様子を見に行ったところ、威風堂々と20輪程黄色い花をつけた株を見つけました。それまでは、花より実(だんご)の私でしたが、山にこんなにも輝かしい花があるのかと感動し、近くの農業高校へ花を持ち込み「これはどういう種類か?」と問い合わせました。

これが私の「エビネ(日本の地生蘭)」との出会いです。段々調べてみると、日本には地エビネ、黄エビネ、キリシマエビネ、サルメンエビネ、ニオイエビネ等の基本種がある事を知り、各地から取り寄せ栽培を始めました。

多い時は数千株を作っていましたが、今は数十株楽しみに栽培しています。私が作った株も何固体か残っています。春4月末、蕾が開く瞬間は春まっただ中を感じる喜びの時です。

顔に似合わず「やさしい運転」「やさしい気持ち」で春の開花を楽しみに、助平心を忘れず、歳を重ねていきます。よろしくお願ひします。

尚、当「きじ丸エビネ会」でホームページを開設しています。是非検索してみてください。

過去の展示会の様子をアップしています。

<http://ww31.tiki.ne.jp/~hiramatupro>

ヒラマツ・プロダクト **えびね** で検索してみてください。

追伸；炭焼きの原理を利用して、グループ会社の「ヒラマツ・プロダクト」で金属製品再生(リユース)を行っています。



写真は、東京都御蔵島産ニオイエビネ「御蔵天紫(みくらてんし)」です。

岡山西支部

有限会社井上設備



会社名：有限会社井上設備

代表者：代表取締役 井上 實

本社：〒702-8024

岡山県岡山市南区浦安南町584番地3

TEL 086-263-8745

FAX 086-263-8464

倉敷支店：〒710-0133

岡山県倉敷市藤戸町藤戸1498番地2

TEL 086-428-8615

FAX 086-296-0601

事業内容：・一般廃棄物収集運搬業 ・産業廃棄物収集運搬業 ・特別管理産業廃棄物収集運搬業
・各種土木工事業 ・道路、側溝、用排水路等の清掃業 ・各種排水管洗浄作業 等

許可資格：「産業廃棄物収集運搬業」岡山県・岡山市・広島県・兵庫県・香川県

「特別管理産業廃棄物収集運搬業」岡山県

「一般廃棄物収集運搬業」岡山市・倉敷市

「建設業許可」岡山県 「廃棄物再生事業者登録」岡山県

「建築物排水管清掃事業登録」岡山県



有限会社井上設備は、一般廃棄物及び産業廃棄物の収集運搬から、ビル、工場、建物等の排水管及び一般家庭の排水管清掃まで、あらゆるニーズに対応できる会社です。

長年培われた経験と実績、様々な作業に的確に対応できる専用車両・専用機械を保有しております。

産業廃棄物処理分野においては岡山県産業廃棄物協会等、排水管清掃分野においては全国管洗浄協会等の主催する各種講習等を定期的に受講し、法的あるいは施工技術に関するユーザー

の皆様のあらゆるお悩みに適切なアドバイスをさせて頂いております。

より安全に、より確実に、よりスピーディに、つねに皆様のご期待に適うよう全力でお応えしていきます。



岡山中央支部

タマタイ産業株式会社



緑のリサイクル

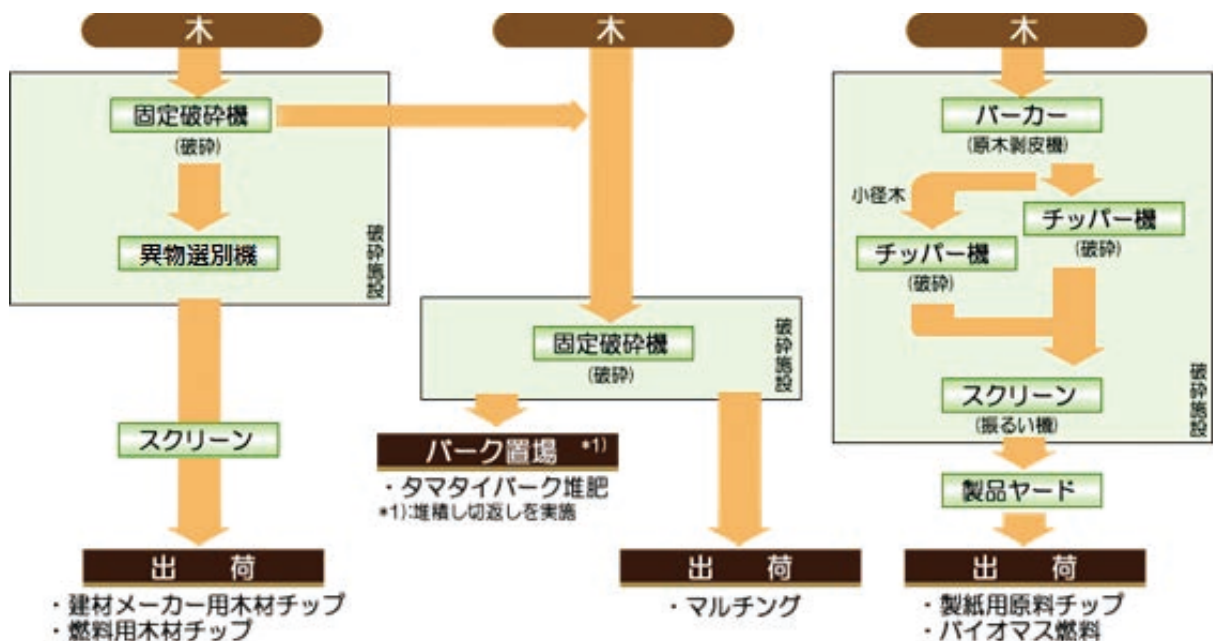
会社名：タマタイ産業株式会社
 本社：岡山県岡山市北区神田町2丁目1-25
 代表者：代表取締役 大塚 雅司
 TEL：086-224-3291
 FAX：086-224-3310
 従業員：40名
 事業所：金川工場、建部工場



↑ 異物選別機

タマタイ産業株式会社は、昭和55年より創業を開始し、木材をチップや緑花資材・堆肥へ加工する他、産業廃棄物・一般廃棄物に当たる木くずのリサイクル等を行っている企業です。「循環型社会の形成に貢献することを目指すとともに、事業活動を通じて環境負荷の低減に継続して取り組む」ことを経営理念に一層社会へ貢献できるよう、邁進してまいります。

【木くずリサイクルの過程】



令和2年度研修会の開催中止のお知らせ

新型コロナウイルス感染拡大のため開催を見合わせていた令和2年度の残りの研修会は、中止とさせていただきます。

- 令和2年度 **実務担当者研修会 中止**
- 令和2年度 **電子マニフェスト研修会、操作体験セミナー 中止**

これにより令和2年度の研修会はすべて中止となりました。

会員の皆様には実務者研修会用テキストを送付しますのでご活用ください。

令和3年度許可講習会に関する情報

- ・(公社)日本産業廃棄物処理振興センターが実施する産業廃棄物処理業許可講習会については、令和2年度は新型コロナウイルス感染拡大防止のため通常の講習会は中止となり、代わりにオンライン講習と会場試験を組み合わせた「暫定講習会」が開催されました。
- ・令和3年度の講習会開催については、現在検討されており3月下旬に発表されますが、新型コロナウイルス感染拡大の状況から、暫定講習会の開催が予想されるようです。
- ・暫定講習会の場合、申込から受講までインターネットにより受講者各自で行っていただくこととなりますので、協会事務局としては、会員の皆様にごできるだけ早く的確な情報を提供したいと思っていますので、よろしく願いいたします。
- ・なお、令和3年度から講習会場(試験会場)が変更となる可能性もありますので、開催情報には十分ご注意ください。

会員企業のホームページ作成サービスのご案内

- ・協会では、会員サービスの一環として、ホームページを作成したい方に、比較的簡単に安心して作成できるサービスを提供することとしました。
- ・ホームページ作成に必要な素材(文面、写真等)は、各自でご用意いただきますが、既定のひな形の中から選んでいただき作成していきます。
- ・興味のある方は次ページのパンフレットをご覧ください。

新入会員の紹介

収集運搬業 【岡山西支部】

操工業有限会社

代表取締役 石原 優子

令和2年10月19日申込

〒700-0035

岡山市北区高柳西町10-5

電話 086-254-8432

FAX 086-254-8435

岡山県産業廃棄物協会会員 ホームページ制作サービスのご案内



ほとんどのユーザーは、
スマホでWEBサイトを
閲覧しています。

スマホ対応サイト
デザイン費
製作費

+

初年度
保守・更新費無料

※当社指定のデザインに限る

50,000円

手続き簡単！必要な項目に答えるだけ

- ①好みのデザインを選ぶ
- ②デザインに必要な写真と文章を送付
- ③出来上がりをチェック→公開

その他、お困りなこと etc…ご相談ください!!

- ブログや Twitter の更新情報をのせたい。
- カレンダーで営業日を知らせたい。
- エクセルや Word のデータを掲載したい。
- 自分で作成したチラシを掲載したい。
- スマホ対応のホームページにリニューアルしたい。

*本サービスには、メールアドレスはつきません。オリジナルドメインをお求めの方は別途ご相談ください。

サンプル
ページは
こちら



<https://okayama-junkan.or.jp/s/top/>

お問合せは
こちら
※相談だけでもOK

業務受託会社
NTT西日本グループ
広告通信社

岡山支店/岡山市北区中山下1-8-45 NTTクレド岡山ビル18F
TEL(086)227-1166 FAX(086)227-3366



2020年11月26日、秋晴れの中、笠岡ふれあい空港で岡山県災害廃棄物仮置場設置訓練が開催され、地元の笠岡市とともに岡山県産業廃棄物協会が参加し、市町村の見学者等を併せ約120名が災害時における初動対応に係る知見を深めました。

編集後記

古文の枕詞、それに導かれる語句は「しろたへの→衣、雪」

「ちはやぶる→神」などありますが、今年の枕詞はやっぱり「新型コロナ」でしょ？

それに導かれる語句は人それぞれでしょうけど。

私の場合は、「大人のひきこもり」でしょうか？

飲みにも行かず遊びにも行かず家と会社の往復というだけの超真面目な生活を送っています。

はやく「真面目な生活」から「パリピな生活」に戻りたいです。

真面目な生活には疲れました。

人間、真面目だけでは生きていけない「ひとときの遊び」が「心の余裕」が必要と感じました。

自分を今までの行いを正当化して2020年を締めくくりました。

2021年よいお年をお迎えください。

(by033)

会報・クリーン岡山第62号

令和3年1月31日発行

発行 一般社団法人岡山県産業廃棄物協会

〒701-1152岡山市北区津高628-6

TEL086-254-9383 FAX086-254-8766

編集 総務広報委員会

印刷 萌友出版

株式会社高谷建設

代表取締役 高谷耕治

〒七二一—〇九三六

倉敷市児島柳田町二二二六—四

電話 〇八六—四七三—三六二四

FAX 〇八六—四七二—六二七三

内海産業株式会社

代表取締役 松本俊成

〒七〇四—八一九五

岡山市東区西大寺金岡一三三〇—五

電話 〇八六—九四八—二一三七

FAX 〇八六—九四八—四七六七

牛窓港湾運輸株式会社

代表取締役 田中大一

〒七〇一—四三〇一

瀬戸内市牛窓町長浜四九五九—二

電話 〇八六九—三四—四九七八

FAX 〇八六九—三四—四一五五

泉建設株式会社

代表取締役 泉正昭

〒七〇二—八〇一三

岡山市南区飽浦一二六

電話 〇八六—二六七—五三三三

FAX 〇八六—二六七—五三三四

迎春



タマタイ産業株式会社

代表取締役 大塚雅司

〒七〇〇—〇九三五

岡山市北区神田町二—一—二五

電話 〇八六—二二四—三二九一

FAX 〇八六—二二三—六三五四

エコシステム山陽株式会社

代表取締役 吉田隆

〒七〇八—一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原一一二五

電話 〇八六八—六二—一三四六

FAX 〇八六八—六二—一三四五

株式会社日本資源開発社

代表取締役 林大悟

〒七〇九—〇六〇七

岡山市東区浦間一一〇二

電話 〇八六—二九七—二二二八

FAX 〇八六—二九七—二三一四

新岡山陸運株式会社

代表取締役 木下聖士

〒七〇二—八〇〇五

岡山市中区江崎七四六—三

電話 〇八六—二七六—一一一一

FAX 〇八六—二七六—二二六六

野崎産業株式会社

代表取締役 野崎 剛正

〒七〇四―八一九四
岡山市東区金岡東町二―一四―三三
電話 ○八六―九四二―三六五一
FAX ○八六―九四三―七九二七

株式会社石原工務店

代表取締役会長 石原 孝
代表取締役社長 石原 彰二

〒七〇四―八一九三
岡山市東区金岡西町八〇―一―一
電話 ○八六―九四二―五一五
FAX ○八六―九四二―一五九五

アサヒプリテック株式会社

代表取締役 中西 広幸

〒七〇四―八一九三
岡山市東区金岡西町一一五七―一
電話 ○八六―九四八―四一七〇
FAX ○八六―九四八―四一八二

有限会社岡一総業

代表取締役 頼 礼

〒七〇三―八二六六
岡山市中区湊一三六三―一八
電話 ○八六―二七四―五七三九
FAX ○八六―二七四―〇五八二

賀正



株式会社野崎運輸機工

代表取締役 野崎 文夫

〒七〇四―八一九四
岡山市東区金岡東町二―一四―三三
電話 ○八六―九四二―三三八一
FAX ○八六―九四三―七九二七

有限会社井上設備

代表取締役 井上 實

〒七〇二―一八〇二四
岡山市南区浦安南町五八四―三
電話 ○八六―二六三―八七四五
FAX ○八六―二六三―八四六四

株式会社岡清組

代表取締役 藤井 武士

〒七〇〇―〇八六六
岡山市北区岡南町二―五―七
電話 ○八六―二三三―七二三〇
FAX ○八六―二二六―〇一一三

明和建設株式会社

代表取締役 黒田 正義

〒七〇九―〇六三一
岡山市東区東平島一三九七
電話 ○八六―二九七―三七三七
FAX ○八六―二九七―四七二二

岡山礫油株式会社

代表取締役 細羽剛史

〒七〇二一八〇四五
岡山市南区海岸通二一六―一三
電話 〇八六―二六四―六八六六
FAX 〇八六―二六四―六八六七

株式会社西日本マックス

代表取締役 金山昇司

〒七〇二一八〇一一
岡山市南区郡三〇〇番地
電話 〇八六―二六七―九九五五
FAX 〇八六―二六七―九九七七

有限会社片岡久工務店

代表取締役 片岡重治

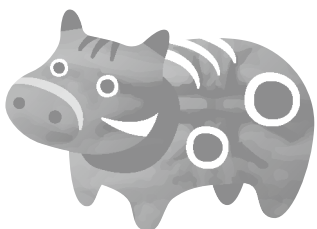
〒七〇二一八〇三三
岡山市南区福富東二一七―一三
電話 〇八六―二六三―二〇一〇
FAX 〇八六―二六三―二四六八

安田産業株式会社

代表取締役 安田 猛

〒七〇二一八〇三六
岡山市南区三浜町一―一―一八
電話 〇八六―二六三―三〇六一
FAX 〇八六―二六三―三〇二九

謹賀新年



栄光テクノ株式会社

代表取締役 堀川英治

〒七〇〇一〇九四三
岡山市南区新福二一七―二〇
電話 〇八六―二六五―一二三四
FAX 〇八六―二六五―七七二二

株式会社中国住宅工業

代表取締役 奥村奈巳

〒七〇一〇一三三
岡山市北区花尻みどり町五―一〇七
電話 〇八六―二五五―九〇〇〇
FAX 〇八六―二五五―九〇〇三

株式会社フミタ組

代表取締役 文田相律

〒七〇二一八〇一一
岡山市南区郡一二七―二―四
電話 〇八六―二六七―二五〇七
FAX 〇八六―二六七―三一一一

株式会社アライエンス岡山

代表取締役 内海紀之

(本社)
〒七〇二一八〇一三
岡山市南区飽浦二一七―一
電話 〇八六―二六七―九五五〇
FAX 〇八六―二六七―九五五二

株式会社光岡組

代表取締役 光岡政勝

〒七〇〇—〇九四二

岡山市南区豊成一—一—一三

電話 〇八六—二二四—五三〇五

FAX 〇八六—二二三—二五一〇

平林金属株式会社

代表取締役社長 平林 実

〒七〇〇—〇九七三

岡山市北区下中野三四七—一〇〇四

電話 〇八六—二四六—〇〇一一

FAX 〇八六—二四六—一一〇〇

有限会社吉備環境設備

代表取締役 石原慎祐

〒七〇〇—〇一六五

岡山市北区大内田一三六七—一

電話 〇八六—二九三—〇五二四

FAX 〇八六—二九三—〇八六〇

株式会社アルス工業

代表取締役 内海光徳

〒七〇〇—〇九二二

岡山市北区大供表町七—一

電話 〇八六—二二二—二二二五

FAX 〇八六—二二二—二二二八

有限会社 吉美

代表取締役 石原惠一

〒七〇〇—〇一六五

岡山市北区大内田一三六七—一

電話 〇八六—二九三—一〇五二

FAX 〇八六—二九二—二〇二〇

トラス・クリーン株式会社

代表取締役 室山宣英

〒七〇〇—〇九四一

岡山市北区青江四—二二—二〇

電話 〇八六—二五九—五五八八

FAX 〇八六—二五九—五五七七

株式会社eCOプロジェクト

代表取締役 松多広樹

〒七〇〇—〇二二二

岡山市南区藤田八九〇—一六

電話 〇八六—二九六—〇七〇六

FAX 〇八六—二九六—〇七〇八

株式会社西日本アチューマットクリーン

代表取締役会長 藏本忠男

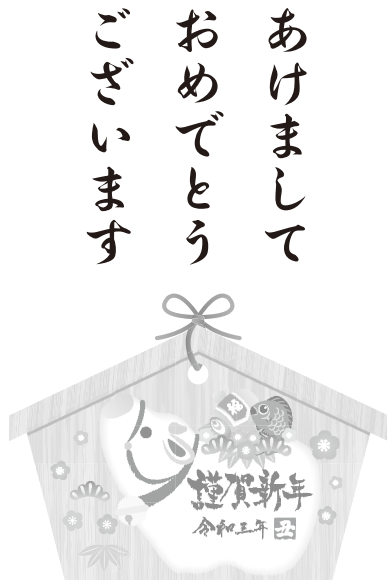
代表取締役社長 藏本 悟

〒七〇三—八二四五

岡山市中区藤原五〇—一

電話 〇八六—二七二—八〇四二

FAX 〇八六—二七一—一〇五〇



妹尾産業有限公司

代表取締役
代表取締役

畑 焔
英 男
畑 貞夫
英 男

〒七〇一〇二〇六
岡山市南区箕島一三〇六―二六
電 話 〇八六―二八二―〇五二一
F A X 〇八六―二八二―〇六四七

小野建設株式会社

代表取締役

小野 勝 己

〒七〇一―一二〇五
岡山市北区佐山一三六四―三
電 話 〇八六―二八四―七一六一
F A X 〇八六―二八四―六八五四

中野開発株式会社

代表取締役

中野 貞 治

〒七〇一―二二四二
岡山市北区玉柏七五
電 話 〇八六―二二九―二三一六
F A X 〇八六―二二九―三一七五

有限会社豊田建運

取締役

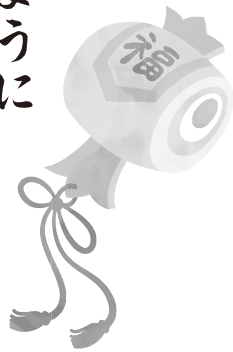
豊 田 眞 爾

〒七〇九―〇七〇四
赤磐市沢原一五五二
電 話 〇八六―九九五―〇〇〇一
F A X 〇八六―九九五―二二二二

今年も

良い年に

なりますように



株式会社デベロップ岡山

代表取締役

田 口 勝

〒七〇一―〇二二三
岡山市南区中畦一一一八―三
電 話 〇八六―二九八―三一二五
F A X 〇八六―二九八―二九二七

横山商事株式会社

代表取締役

横 山 忠 彦

〒七〇一―三三〇二
備前市日生町寒河二五五九
電 話 〇八六九―七二―一三〇一
F A X 〇八六九―七二―一三〇五

日生運輸株式会社

代表取締役

伊 賀 資 耕

〒七〇五―〇〇二三
備前市伊里中五八八―一
電 話 〇八六九―六七―二五五五
F A X 〇八六九―六七―〇四六八

キョクトウ有限公司

〒七〇九―〇八六一

岡山市東区瀬戸町瀬戸六四六
電 話 〇八六―九五二―〇三八四
F A X 〇八六―九五二―一九七七

株式会社フルカワ商事

代表取締役

古川悦生

〒七二一〇〇八三五

倉敷市四十瀬三四三―三

電話 〇八六―四二四―八〇二〇

FAX 〇八六―四二七―三六九九

株式会社美建ビルサービス

代表取締役

小林建雄

〒七二一〇〇〇一六

倉敷市中庄二二四八―四

電話 〇八六―四六三―一三五一

FAX 〇八六―四六三―一七七九

NIK環境株式会社

代表取締役

佐藤真一

〒七二一〇〇九〇七

倉敷市児島上の町一―九―六七

電話 〇八六―四七二―一八二八

FAX 〇八六―四七三―二一一七

水島エコワークス株式会社

代表取締役社長

藤井和夫

〒七二二一八〇七四

倉敷市水島川崎通一―一四―五

電話 〇八六―四四七―三二五五

FAX 〇八六―四四七―三二五七

株式会社田中商会

代表取締役

室山敏彦

〒七二一〇〇八〇三

倉敷市中島一三九五

電話 〇八六―四六五―三〇五〇

FAX 〇八六―四六五―三〇五一

福栄産業株式会社

代表取締役

田中正

(福栄産業物流センター)

〒七二二一八〇五五

倉敷市南畝七―一―三三

電話 〇八六―四五五―七〇七七

FAX 〇八六―四五六―一四二二

倉敷企業株式会社

代表取締役

井上正士

〒七二一〇〇八四二

倉敷市吉岡二九三―一

電話 〇八六―四二四―六四二九

FAX 〇八六―四二一―九一九〇

協同組合倉敷市環境保全協会

代表理事

岡井智之

〒七二一〇〇〇三八

倉敷市新田二三二二―八

電話 〇八六―四二二―七三七一

FAX 〇八六―四二一―五四二七

株式会社ビーシー工業

代表取締役

富本泰司

〒七二二一八〇五一

倉敷市中畝九―一二―三七

電話 〇八六―四五六―三四二一

FAX 〇八六―四五六―五八四三

坂川建設鋳業株式会社

代表取締役 坂川 晃一

〒七一四―一四〇五
井原市美星町宇戸一〇五五
電話 〇八六六―八七―二六二六
FAX 〇八六六―八七―二六二七

有限会社藤充建設工業

会長 藤原 浩司

〒七一五―〇〇一九
井原市井原町三五五七―二九
電話 〇八六六―六二―〇七一二
FAX 〇八六六―六二―〇三〇二

株式会社アースクリエイト

代表取締役 三好 員弘

〒七一四―一二二五
小田郡矢掛町中一七〇
電話 〇八六六―八二―三〇三一
FAX 〇八六六―八二―三四〇〇

株式会社平松運輸

代表取締役 平松 敬史

〒七一六―〇二〇七
高梁市川上町仁賀六二七
電話 〇八六六―四八―三五八八
FAX 〇八六六―四八―三二六一

新年の

お慶びを

申し上げます



株式会社 日住

代表取締役 高橋 克実

〒七一九―〇二五四
浅口市鴨方町六条院東五〇九
電話 〇八六五―四四―七八八八
FAX 〇八六五―四四―六五一三

株式会社三美産業

代表取締役 妹尾 芳訓

〒七一六―〇二〇三
高梁市川上町三沢四三四二―二
電話 〇八六六―四八―二八七八
FAX 〇八六六―四八―二八七九

山陽興産株式会社

代表取締役 大本 修身

〒七一六―〇〇四五
高梁市中原町一五四二―六
電話 〇八六六―二二―一〇三五
FAX 〇八六六―二三―一三二六

山陽環境開発株式会社

取締役会長 岩元 博

〒七一八―〇〇〇三
新見市高尾二三〇四―一
電話 〇八六七―七二―五四一五
FAX 〇八六七―七二―一七八〇

株式会社新岡山工業

代表取締役 田口孝利

〒七〇八―一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原字稲千一〇四八―二

電話 〇八六八―六二―二七七五

FAX 〇八六八―六二―二七七六

株式会社廃棄物センター

代表取締役 河原 淳

〒七〇八―〇〇一三

津山市二宮八七〇

電話 〇八六八―二八―二〇五一

FAX 〇八六八―二八―二一四八

坂田碎石工業株式会社

代表取締役 近堂申洋

〒七〇九―三六三一

久米郡久米南町山手六四五

電話 〇八六―七二八―二八一

FAX 〇八六―七二八―二四六〇

エコシステムジャパン株式会社

代表取締役 石川 統一

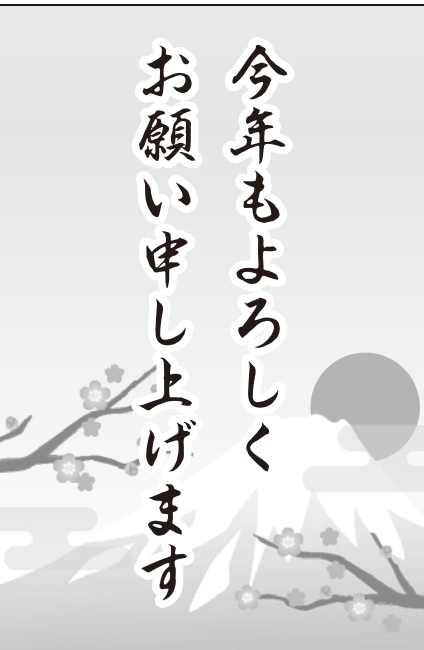
〒七〇八―一五二三

久米郡美咲町吉ヶ原一〇四八―二

電話 〇八六八―六二―一三四一

FAX 〇八六八―六二―一三四〇

今年もよろしく
お願い申し上げます



末沢建設株式会社

代表取締役 末澤 由博

〒七〇八―一一二六

津山市押入一三一九―七

電話 〇八六八―二六―一一七三

FAX 〇八六八―二六―一一七二

竹藤建設株式会社

代表取締役 竹藤健太郎

〒七一九―三三〇一

真庭市久世二九二〇―一二

電話 〇八六七―四二―一一〇

FAX 〇八六七―四二―五〇二七

有限会社フクイクリーン

代表取締役 福井 太郎

〒七〇七―〇〇二四

美作市楯原下一四五

電話 〇八六八―七二―一一一九

FAX 〇八六八―七三―〇四五五

三好組設立 50 周年 ～関係各位に感謝を込めて～



土木工事 / 解体工事 / 産業廃棄物収集運搬・最終処分・中間処理 / 伐採木の処分
一般廃棄物処理 / 砂・真砂土・RC の販売 / リサイクル事業 / ダンプ・クレーン

(株)三好組

土木・建築工事



- 産業廃棄物中間処理業
(コンガラ・鉋さい・ガラス陶磁器くず)
- 産業廃棄物最終処分業
(がれき)
- 真砂土・再生砕石販売

三好組グループ

株式会社 三好組

本社 / 小田郡矢掛町中 170

TEL / 0866-82-0522

FAX / 0866-82-2646

株式会社 アースクリエイト

本社 / 小田郡矢掛町中 170

TEL / 0866-82-3031

FAX / 0866-82-3400

<http://www.miyoshigumi.co.jp/>



(株)アースクリエイト

解体工事・木くずリサイクル



- 中間処理業・一般廃棄物処理業
(木くず・紙くず・廃プラ・繊維くず)
- ダンプ事業
- 山砂・おろし真砂土販売

リサイクルで地球を護る

変化するリサイクルの世界に挑戦して120年



株式会社 田中商会

代表取締役 室山 敏彦



**2020年12月4日 玉島工場竣工
中間処理（破碎・選別）**



- ◆廃棄物再生資源事業者登録
- ◆産業廃棄物・一般廃棄物収集運搬
- ◆産業廃棄物処分業（中間処理）
切断、圧縮、圧縮・切断、圧縮梱包、破碎、破碎・選別
- ◆機密文書破碎処理業務
- ◆計量事業証明書
計量・証明書の発行
- ◆建設業
一般建設業 とび土工・解体工事業

本社・製鋼原料部

〒710-0803 岡山県倉敷市中島1395
TEL (086) 465-3050 FAX (086) 465-3051

製紙原料部

〒710-0803 岡山県倉敷市中島1550
TEL (086) 466-1066 FAX (086) 465-3601

工作所

〒710-0803 岡山県倉敷市中島1543
TEL (086) 465-7866 FAX (086) 466-0441

水島作業所

〒712-8073 岡山県倉敷市水島西通り1丁目1950-4
TEL (086) 446-4036 FAX (086) 445-1561

玉島工場

〒713-8103 岡山県倉敷市乙島字新湊8264-11
TEL (086) 486-1850 FAX (086) 486-1851

Re-Cycle is Re-Fresh

The earth is defended by recycling.
It challenges the recycling of limited natural resources.

URL <http://www.tanaka-rc.co.jp/>

